

# 研究・教育・社会活動報告



青木 滋之 (2017年2月～2018年1月)

### 1. 教育活動

会津大学での2016年度担当授業 ・文章表現法 ・Logic ・哲学 ・History of Science / ポラリス保育看護学校での非常勤 ・論理学

### 2. 研究活動

(論文) ・「拡張型のトゥールミンモデル ——ライティングへの橋渡しの提案——」, 『会津大学文化研究センター研究年報』 第23号, 2017, pp. 5-24.

(招待講演) ・「アメリカ宇宙法の哲学的諸問題」, 京都大学宇宙総合学研究ユニット, 宇宙倫理学研究会, 京都大学, 2017年3月26日

(その他) ・「学界展望 ジョン・ロックの哲学」, 青木滋之・小城拓理・沼尾恵での共著, 『イギリス哲学研究』 第40号, 2017年3月, pp. 99-114.

・「シンポジウム II (i) イギリス経験論とは何なのか ——「ロック、バークリ、ヒューム」の系譜」, 青木滋之らの共著, 『イギリス哲学研究』 第40号, 2017年3月, pp. 124-131.

・「地球惑星科学の哲学」ってどんな学問?, 『シノドス』, 2017年5月11日 [<http://synodos.jp/science/19216>] (学会発表)

・「議論の強さを理解する ——トゥールミンモデルの応用問題」, ディベート教育国際研究会第三回大会, 九州大学, 2017年3月19日

・「実験哲学の知的思想史 ——王立協会設立期からニュートン主義時代への展開」, 日本イギリス哲学会第40回総会・研究大会, 南山大学, 2017年3月28日

・「宇宙論からみた人生の意味」, 日本地球惑星科学連合2017年大会, 幕張メッセ, 2017年5月21日

・「イギリス啓蒙の中のジョン・ロック」, ジョン・ロック研究会, 名古屋大学, 2017年9月8日

### 3. 社会活動

・平成29年度会津若松市社会教育委員, 生涯教育総合センター, 「学識経験者」メンバー ・「放射線について」, 大熊町との教育連携事業, 大熊町熊町小学校・大野小学校, 2017年4月20日 ・「「学ぶ」から「使う」へ——大学での英語事情」, 福島成蹊高校1年生向け, 会津大学, 2017年7月13日 ・「日本人を『哲学』する! ～今に生きる会津藩の教え「ならぬことはならぬ」のルーツをさぐる～」, 会津大学・会津稽古堂協働事業「あいづまちなかキャンパス」, 会津稽古堂, 7月15日 ・「なぜ英語を勉強するの?」, 会津若松市立第六中學生向け, 会津大学, 2017年9月12日 ・会津地区社会教育委員研究大会(分科会のコーディネーター), 会津稽古堂, 2017年10月25日 ・「野口英世ってどんな人?」, 会津大学・會津稽古堂協働事業「あいづまちなかキャンパス」, 11月11日 ・「良い論文ってどんなもの?」, 会津高校1年生向けの講演, 会津高校, 12月12日 ・会津大学文化研究センター・會津稽古堂協働公開セミナー「「働く」ことを考える」コーディネーター, 12月16日 ・『ディベートと議論教育—ディベート教育国際研究会論集』の編集委員長, 2017年度 ・日本イギリス哲学会理事(2017年11月～)

### 4. 学内委員会

・2017年度 大学開放企画委員会 ・2017年度 公立大学法人会津大学評価室ワーキンググループのメンバー ・2017年度復興支援センター運営委員会委員

### 5. 外部資金の獲得

・基盤研究B(2014-2018)「議論教育のための対話型教材教育に向けた基礎的研究」(代表:井上奈良彦), 分担研究者

苅間澤 勇人 (2017年2月～2018年1月)

## 1 研究活動 (著作・出版, 学会発表)

- ・河村茂雄 (監修) 学級担任が進める特別支援教育の知識と実際—集団の教育力を生かしたインクルーシブ教育の実現— 図書文化社
- ・児童生徒理解と学級経営, 指導と評価, 図書文化
- ・紙上進路指導ケーススタディ こんな生徒とどう向き合う キャリアガイダンス Vol. 417～Vol. 420, リクルート
- ・日本教育カウンセリング学会研究発表大会  
口頭発表「高校入学期の不安解消の援助—教育困難校での取組みから—  
自主シンポジウム「学級経営を上手く進める!—学級担任にどのように援助するか—」(企画・司会)

## 2 教育活動

- ・教育入門 ・教師入門 ・道徳教育 ・特別活動 ・生徒指導・教育相談
- ・教育実習事前事後指導 ・教育実習 ・教職実践演習 ・文章表現法

## 3 学内運営 (委員会)

- ・教務委員会

## 4 社会活動

### (1) 会津大学公開講座

○講義 第7回～第11回「学級集団づくりに活かすグループアプローチ (会津QU学習会)」

○講義 第1回～第2回「授業研究会」

○教員派遣公開講座

- ・福島県立会津工業高等学校
- ・会津坂下町立会津坂下南小学校
- ・会津坂下町立坂下中学校
- ・喜多方市立塩川中学校
- ・白河市教育委員会
- ・郡山市教育委員会
- ・岩手県 一戸町教育委員会
- ・山形県教育センター (生徒指導協議会)
- ・会津坂下町立坂下東小学校
- ・会津若松市立河東中学校
- ・喜多方市立山都中学校
- ・白河市立白河第三中学校
- ・本宮市教育委員会
- ・青森県 三戸地方教育研究所
- ・山形県教育センター (5年次研修会)

### (2) 委員等

- ・2015年度から 会津若松市あいづっこをいじめから守る委員会 (委員長)
- ・2016年度から 会津若松市教育委員会 学力向上委員会 (委員長)
- ・2016年度から 会津坂下町教育委員会 いじめ問題専門委員会 (委員長)
- ・2017年度から 福島県教育委員会使用教科用図書選定審議会 (委員)

### (3) 学会活動

- ・日本教育心理学会 社員 (理事)
- ・日本学校心理士会 査読委員

菊地 則行 (2016年2月～2018年1月)

### 1. 研究活動

研究論文・著作

- ・大学生生活への満足感と活躍希望－16年間の変化と現在－(単著) 2017.1 福島の進路 No. 413
- ・目指す「おとな像」と「対おとな認知」の特徴と、それらに及ぼす「おとなとの共同体験」、「おとな処遇体験」の影響に関する研究 (共著) 2017.3 北里大学教職課程センター教育研究2
- ・2016年度会津大学生の生活と意識1－基礎集計－(共著) 2017.3 会津大学文化研究センター研究年報第23号
- ・2016年度会津大学新入生の生活と意識1－基礎集計－(共著) 2017.3 会津大学文化研究センター研究年報第23号

### 2. 教育活動

教職科目

- ・教育心理学 ・生徒指導教育相談 ・進路指導 ・教育方法 ・教育実習事前事後指導 ・教育実習
- ・教職実践演習

教養科目

- ・心理学 ・文章表現法

自由科目 ・情報と職業

卒業研究

- ・ICTを利用した教育方法の心理学的研究

### 3. 社会活動

講演

- ・福島県立大沼高等学校 (2016.10) 進路を選ぶ
- ・桜の聖母学院高等学校 (2016.10) 進路を選ぶ
- ・福島県立長沼高等学校 (2016.10) 思春期の心理
- ・日大東北高等学校 (2017.1) 思春期・青年期の心理と進路選択
- ・会津若松市父母と教師の会連合会 母親部会 (2017.11) 思春期の進路・目標設定における保護者の関わり方

委員等

- ・財団法人会津若松文化振興財団理事 (2008～)
- ・会津若松市教育委員会点検及び評価における有識者会議委員 (2011～)
- ・会津美里町教育委員会点検及び評価における有識者会議委員 (2014～)
- ・あいづっこ人材育成プロジェクト実行委員会委員長 (2014～)
- ・会津若松市学校のあり方懇談会委員長 (2015～)

吉良 洋輔 (2016年4月～2018年1月)

## 1. 研究活動

### □査読付き論文

- ・吉良洋輔, 「繰り返しゲームにおける社会規範の内面化と自己制裁: 規範に従う心」『理論と方法』, 近刊 (掲載決定済み).
- ・Yosuke Kira, “The survival of inefficient and efficient norms: Equilibria with and without meta-norms in a repeated norm enforcing game”, *Journal of Mathematical Sociology*, forthcoming (accepted).

### □学会報告 (○: 登壇者、[R]: 査読付き)

- ・○吉良洋輔, 「繰り返しN人囚人のジレンマにおける進化的安定性」『数理社会学会大会』2017年9月, 札幌学院大学.
- ・[R]○Kira, Yosuke, ” Social Norms With and Without a Meta-Norm: Costly Punishment in Repeated Games Sustains Not Only Cooperation but Also Unpopular Norms” The Sixth Joint Japan-North America Mathematical Sociology Conference, at Seattle, U.S.A., 19th August 2016.
- ・[R]○Kira, Yosuke., Shimpei Koike, and Mayuko Nakamaru “Rotational Cooperation in the Repeated Missing Hero Dilemma.” *Social Interaction and Society*, at ETH Zurich, Zurich, Switzerland, 26th May 2016.

### □外部資金の獲得

- ・日本学術振興会 科学研究費補助金 (挑戦的研究・萌芽), 「大規模オンライン実験手法の確立による社会的ジレンマ研究のブレークスルー」, 研究代表者, 総額 4,600,000 円 (+間接経費), 2017～2019年.
- ・日本学術振興会 科学研究費補助金 (基盤B), 「市民社会とともに歩むコモンズ—中山間地域活性化の数理社会学的研究—」, 代表: 中井豊, 研究分担者として参画, 2016年度分担金 100,000 円 (+間接経費), 2016～2018年.

## 2. 教育活動

- ・2017年6月～現在 東北大学「アカデミックリーダー養成プログラム」参加採択
- ・2016年10月～現在 会津大学「社会学」「社会シミュレーション」「文章表現法」「ベンチャー体験工房」担当
- ・2016年6～9月 東京工業大学リベラルアーツ教育院「統計学A」非常勤講師

## 2. 社会活動

- ・2017年11月～現在 会津オープンイノベーション会議 アドバイザー (統計解析)
- ・2018年1月～2月 郡山市職員研修「オープンデータと統計分析」全3回
- ・2017年4月～現在 会津若松地方広域市町村圏整備組合 情報公開審査委員 副委員長
- ・2017年3月～現在 数理社会学会 研究活動委員
- ・2016年12月26～27日 東北大学NFP/PFFP 全国プログラムユーザ会議 討論者
- ・2016年12月17日 公共選択学会 分科会「震災復興過程の政治経済学」指定討論者 (2論文).

清野 正哉 (2017年4月～2018年1月)

## 1. 研究活動等

(講演等)

- ・「国・地方における政策策定・形成論(ソーシャルメディアと政策) 18歳選挙権と主権者教育のあり方」  
福島県南高等学校地理歴史・公民科(社会科)研究会
- ・「ソーシャルメディアの法とルール」 福島県若松人権擁護委員協議会
- ・「情報モラル講座 SNSなどを通じたネットトラブルの実態やトラブル防止、対処法」 郡山市教育委員会教育研修センター
- ・「AIは本当に役に立つのか AIの法的問題と倫理等」 二本松中央公民館 市民大学セミナー
- ・「地域活性化のための方法論」 会津美里町みさと未来プロジェクト
- ・「情報モラル ソーシャルメディア SNS等を介した犯罪トラブルに巻き込まれないために」 二本松市教育委員会

## 2. 担当授業科目・学内委員会・公開講座等

(担当授業科目)

- ・コンピュータ理工学部 専門教育「情報倫理」、  
教養教育「日本国憲法」、「法学」 SCCP 公務員・教員試験対策講座・ベンチャー/コンテンツビジネス  
(学内委員会)
- ・図書委員会、情報委員会  
(2017年度 公開講座・教員派遣講座としての担当内容)  
「AIの法律・倫理問題」、「安心・安全のための情報の取り方」、「学校教育における情報モラル」、「クラウドコンピューティングの法律問題」、「ソーシャルメディアと企業経営」、「ソーシャルメディアなどのインターネット及びスマートフォンの利用におけるトラブル・法律問題とその解決講座」、「地域活性化のための方法論」、「企業経営や事業化のための資金調達の方法論」

### 2-2 学外 担当授業科目

- ・竹田看護専門学校 「看護と法」

## 3. 教育実践・地域貢献活動

- ・県内中小企業及び県外企業、NPO法人、市町村からの相談多数 (相談内容の例 技術評価・技術マッチング、知的財産管理、著作権、商標・意匠事業、個人情報管理、企業経営戦略、資金調達、社内人材育成、ソーシャルメディア事業、新規事業戦略・方法、再生エネルギー事業、法令解釈 子ども子育て関係)  
(学外委員等)
- ・会津若松市行政不服審査会 会長
- ・会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会 会長
- ・会津若松市子ども子育て会議 会長、会津若松市次世代育成協議会 会長 等

## 4. その他

- ・特許権 4747250号(代理人端末装置及び代理人端末装置の制御プログラム 2012年5月27日登録)更新中

中澤 謙 (2017年)

## 1. 研究

(学術論文)

- ・ 矢野宏光, 丸山裕司, 村上秀明, 中澤 謙, 島崎義弘 (2017) . 中高年ウォーキングイベント参加者の一過性の心理的变化. ウェルネスジャーナル. 13(1), 13-21. (査読有)
- ・ 中澤 謙, 西原康行. オンゴーイング法と授業日誌法の併用による体育授業の改善. 大学体育学. Accepted 14-Dec-2017. (査読有)

(学会発表)

- ・ Nakazawa, K. Nishihara, Y. (2017) . Placement of volleyball unit as a teaching material through action research. 22th annual Congress of the European College of Sports Science Proceeding, 92-93. (査読有/oral)

## 2. 教育・運営

(担当授業)

- ・ 体育実技 1 (3 クラス)
- ・ 体育実技 2 (3 クラス)
- ・ 体育実技 3
- ・ 体育実技 4
- ・ 保健体育理論
- ・ 卒業研究
- ・ 文章表現法
- ・ 運動と健康 (短期大学部)

(FD 活動)

- ・ Exchange information on scientific activities of cardiac rehabilitation especially PhaseⅢ cardiac Rehabilitation heart groups (10<sup>th</sup> of July 2017). German Sports Univeresity of Cardiology and Sports Medicine, dep. Preventive and Rehabilitative Sport Medicine and Exercise Physiology. (学内委員会)
- ・ 衛生委員会

## 3. 社会貢献

(外部委員)

- ・ 福島県スポーツ推進審議会 (委員/会長代理者)
- ・ 福島県スポーツ医・科学委員会 (委員)
- ・ 会津若松市スポーツ推進審議会 (委員)
- ・ (公財) 日本水泳連盟学生委員会北部支部 (支部長)

(出前講座)

- ・ 会津地区エリアネットワーク事業研修会「子ども向けスポーツ教室の充実に向けた指導法について」(教員派遣公開講座) 2017. 11



## 長谷川弘一（2017年4月～2018年1月）

### 1. 研究活動

#### 1) 研究論稿

剣道の伝統と文化の研究（序論）（会津大学文化研究センター研究年報 H. 30. 3月投稿予定、共著）

#### 2) その他

講話・実技研究に関する講習会報告書および資料作成

(1) 平成 29 年度全日本剣道連盟講師養成講習会報告書

(2) 審判法講習会（対象：福島県内指導者）講習資料

(3) いわき地区中学校錬成会資料：中学生対象、中学校教員対象）

### 2. 主な教育・指導・社会的活動(学外での活動のみ記載)

#### 1) 役職

・全日本剣道連盟指導委員会 委員兼幹事

（平成 29 年 4 月、全日本剣道連盟会長より委嘱：平成 29 年 3 月までは称号・段位委員会委員）

・福島県剣道連盟理事長（H. 26 年 4 月～）

・日本武道学会会員

#### 2) 教育・指導・社会的活動

・全日本剣道連盟指導委員会（委員兼幹事）毎月 1 回於全日本剣道九段事務所において  
各種指導講習会の実施内容検討企画業務に参画

・全日本八段選抜剣道大会出場

H. 29. 4 月 於名古屋市

・第 59 回東北・北海道対抗剣道大会審判

H. 29. 7 月 於札幌市

・全国剣道六・七段昇段審査会審査員

H. 29. 8 月（長野）、H. 29. 11 月（名古屋）、H. 29. 11 月（東京）

・山口県青少年剣道錬成大会講師（日本武道館派遣講師）

H. 29 年 8 月 於山口市 於茨城県水戸市

・東日本高齢者剣道（相楽杯）大会審判長 H. 29 年 8 月 於郡山市

・全国剣道指導者養成講習会（幹事として業務）

H. 29 年 10 月 於勝浦市

・全日本剣道連盟 全国女子剣道指導者講習会幹事として参加 H. 30. 2 月予定

・全日本剣道連盟 剣道研究会 指導委員会委員兼幹事として参加 H. 30. 3 月予定

・福島県内各種講習会（中央伝達講習会、審判法、指導法、昇段審査）講師

・福島県内各種大会、全国大会出場予選会審判長および県役員として参加

・福島県いわき市地区中学校錬成大会講師 H. 30 年 1 月 於いわき市小名浜

### 3. その他

・年間を通して毎週 2 回、小・中学生対象に剣道指導

・社会体育指導者対象に指導法研修会、および実技指導

**執筆者一覧** (五十音順)

青木 滋之 (R) (A) 会津大学上級准教授 (科学哲学)

梅津 恒介 (P) 会津大学 非常勤講師 (体育学)

荻間澤 勇人 (A) 会津大学上級准教授 (教育学)

菊地 則行 (PF) (A) 会津大学教授 (教育心理学)

吉良 洋輔 (A) 会津大学准教授 (社会学)

清野 正哉 (A) 会津大学上級准教授 (法学・情報倫理)

中澤 謙 (A) 会津大学上級准教授 (体育心理学)

長谷川 弘一 (P) (A) 会津大学教授 (体育史・武道史)

※ (PF) 卷頭言 (R) セミナー報告 (P) 論文 (A) 活動報告

会津大学文化研究センター研究年報 第24号 2017

2018年 3月 31日 発行

発行 会津大学

郵便番号 965-8580

福島県会津若松市一箕町鶴賀

Fax 0242(37)2751

編集 会津大学文化研究センター



